

言語文化	単位数	2単位	学科・学年・学級	
------	-----	-----	----------	--

## 1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

## 2 使用教科書など

<b>使用教科書</b>	東京書籍「精選言語文化」(言文 702)
<b>副教材など</b>	「精選言語文化学習課題ノート」(準拠ノート) / 「新総合図説国語」 / 「新精選古典文法」 / 「新精選古典文法 準拠ノート」 / 「新精選古典文法 演習ノート」 / 「新精選古典文法 実戦ノート」 / 「新徹底理解高校漢文」 / 「新徹底理解高校漢文ワーク」 / 古語辞典 / その他、Dマークコンテンツ(教科書)、指導用 DVD-ROM 収録の補助資料など

## 3 評価の3観点と学習指導要領との対応

平成30年告示の学習指導要領では、評価の観点が「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つとなった。

学習指導要領との対応は以下のとおりである。

- ・「知識・技能」：学習指導要領の〔知識及び技能〕について指導したことを評価する。
- ・「思考・判断・表現」：学習指導要領の〔思考力、判断力、表現力等〕について指導したことを評価する。
- ・「主体的に学習に取り組む態度」：学習指導要領に直接該当する項目はないが、次の2つの側面を評価することが求められている。
  - ①知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとする側面。
  - ②①の粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとする側面。

## 4 「年間指導計画例」の見方

本資料の各項目の概要は、以下のとおりです。

### 《薄いグレーの見出し》

- ・学期と各編の単元番号と名称，配当月を示した。

### 《領域・教材名・ページ数・配当時数》

- ・領域（読む／書く），教材名，ページ数，配当時数を示した。

### 《学習指導要領との対応》

- ・学習指導要領の指導事項や言語活動例との対応を示した。

#### 記号の意味

[知技] …… 「知識及び技能」の指導事項

[思判表] …… 「思考力，判断力，表現力等」の指導事項

活 …… 「思考力，判断力，表現力等」の言語活動例

### 《学習目標》

- ・附録「この教科書で学ぶこと」に掲載の学習目標を示した。

### 《学習活動例》

- ・配当時数の中で考えられる学習活動の例を示した。

#### 記号の説明

\* …… 指導上の留意点や別案

D …… D マークコンテンツの活用

### 《評価規準例》

- ・「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点による評価規準例を示した。
- ・「知識・技能」の評価規準例は，各教材で育成を目指す資質・能力に該当する学習指導要領の〔知識及び技能〕の指導事項の文言をそのまま用いて，文末を「～している。」とした。
- ・「思考・判断・表現」の評価規準例は，各教材で育成を目指す資質・能力に該当する学習指導要領の〔思考力，判断力，表現力等〕の指導事項の文言をそのまま用いて，冒頭を「（領域名）において，」として領域を明示し，更に文末を「～している。」とした。
- ・「知識・技能」「思考・判断・表現」の評価規準例は，扱っている全ての指導事項について設定した。
- ・「主体的に学習に取り組む態度」は，次の4つの内容を全て含め，各教材の目標や学習内容等に応じて，その組み合わせを工夫しながら設定している。また，文末

は「～しようとしている。」とした。

- ①粘り強さ〈積極的に、進んで、粘り強く等〉
- ②自らの学習の調整〈学習の見通しをもって、学習課題に沿って、今までの学習を生かして等〉
- ③他の2観点において重点とする内容（特に、粘り強さを発揮してほしい内容）
- ④当該単元の具体的な言語活動（自らの学習の調整が必要となる具体的な言語活動）

#### **記号の意味**

[知技] …… 「知識・技能」の評価規準例

[思判表] … 「思考・判断・表現」の評価規準例

[主] …… 「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準例

◆年間指導計画例

領域・教材名 ページ数・配当時数	学習指導要領と の対応	学習目標	学習活動例 (*は指導上の留意点など)	評価規準例
■ 1 学期				
現代文編 1 随筆 (4 月)				
読む 言葉を届ける  P10 1 時間	[知技] (1)ア, イ, ウ, エ [思判表] 読む こと(1)ア, イ	・恋愛をテーマに詠 まれた短歌とそれ に対する筆者の見 解に注意して, 随筆 を読み味わう。	1 恋愛をテーマにした作品 (小説・詩・短歌など) で印 象に残っているものについて発表する。 2 それぞれの短歌に詠まれた愛の在り方に注意しながら, 本文を通読する。(手引き 1) 3 「花水木の…」の短歌から筆者がどのようなことを考 えているか捉える。(手引き 2) 4 「やは肌の…」と「道を云はず…」の短歌から筆者が どのようなことを考えているか, 時代背景を踏まえて 捉える。(手引き 3) 5 「年を経て…」の短歌に対する筆者の見解を踏まえて, 最終段落の「普遍的な願い」とはどのようなものか考 える。(手引き 4)	[知技] ・言葉には, 文化の継承, 発展, 創造を支える働きがあ ることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ, 主な常用漢字を書き, 文や文 章の中で使っている。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し, それら の文化的背景について理解を深め, 文章の中で使うこ とを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は, 文脈の中で形成されることを理解して いる。 [思判表] ・「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 内容 や構成, 展開などについて叙述を基に的確に捉えてい る。 ・「読むこと」において, 作品や文章に表れているもの の見方, 感じ方, 考え方を捉え, 内容を解釈している。 [主] 進んで筆者のもの見方や感じ方を捉えて随筆を 読み味わい, 学習課題に沿って, 恋愛をテーマに詠ま れた短歌とそれに対する筆者の見解を捉えようとし ている。
読む 耳覚めの季節 [言語]  P15 2 時間	[知技] (1)ア, イ, ウ, エ [思判表] 読む こと(1)ア, オ	・耳から入ってきた 言葉との出会いに ついて書かれた随 筆を, 具体例に注意 して読み取る。	<第 1 時> 1 「耳覚め」とはどのようなことだと思いか発表する。 2 話題の展開に注意しながら, 本文を通読する。(手引 き 1) 3 寄席で落語を聴く筆者が, どのようなことを感じてい	[知技] ・言葉には, 文化の継承, 発展, 創造を支える働きがあ ることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ, 主な常用漢字を書き, 文や文 章の中で使っている。

			<p>るか捉える。(手引き2)</p> <p><b>&lt;第2時&gt;</b></p> <p>1 「へっつい幽霊」を聴いた筆者の未知の言葉との出会いについて考える。(手引き3)</p> <p>2 「耳覚めのときが来た」〔一九・1〕とはどのようなことか考える。(手引き4)</p> <p>3 「どこかでつながっているような気がするのだ。」〔一九・4〕とはどのようなことか、また、そのように述べる筆者の思いについて考える。(手引き5)</p> <p>4 耳から聞いて興味を持った言葉について話し合う。(言語活動)</p>	<p>・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</p> <p><b>[思判表]</b></p> <p>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p>・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</p> <p><b>[主]</b> 進んで自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、学習課題に沿って、筆者の「耳覚め」についての体験や考えを読み取り、筆者の思いについて考えようとしている。</p>
--	--	--	--	--

古文編1 古文入門(4月)

<p>読む 児のそら寝 P106</p> <p>●古文学習のしるべ1 古文の言葉と仮名遣い P108 1時間</p>	<p><b>[知技]</b> (1)ア, ウ, エ / (2)ウ <b>[思判表]</b> 読むこと(1)ア</p> <p><b>[知技]</b> (2)ウ, エ <b>[思判表]</b> 読むこと(1)ア</p>	<p>・歴史的仮名遣いについて理解し、説話のおもしろさを読み取る。</p>	<p>□古文と現代文の違いについて確認する。</p> <p>□説話というジャンルについて理解する。</p> <p>1 本文を音読し、歴史的仮名遣いに慣れる。(手引き1・古文学習のしるべ1)</p> <p>2 児の気持ちの変化を整理し、最後の描写の意味について考える。(手引き2・3)</p> <p>3 現代語訳する際の注意点を理解する。(古文学習のしるべ1)</p>	<p><b>[知技]</b></p> <p>・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</p> <p>・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</p> <p>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。</p>
--	---	---------------------------------------	---	--

				<p><b>【思判表】</b>「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p><b>【主】</b>進んで歴史的仮名遣いについて理解し、学習課題に沿って説話のおもしろさを読み取ろうとしている。</p>
<p>読む 用光と白波 P 110</p> <p>●古文学習のしるべ2 古語を調べるために P 112 1 時間</p>	<p><b>【知技】</b> (1)ア, ウ, エ / (2)ウ <b>【思判表】</b> 読むこと(1)ア</p> <p><b>【知技】</b> (2)ウ, エ <b>【思判表】</b> 読むこと(1)ア</p>	<p>・文語の品詞について理解し、登場人物の心情を読み取る。</p>	<p>1 歴史的仮名遣いに留意し、本文を音読する。</p> <p>2 用光と海賊の行動及び心情を読み取る。(手引き 1・2)</p> <p>3 話末評語の意味と作者の意図を考える。(手引き 3)</p> <p>4 古語の品詞や活用について理解し、古語辞典の引き方に慣れる。(古文学習のしるべ 1・2)</p>	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</li> <li>・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</li> <li>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</li> <li>・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。</li> </ul> <p><b>【思判表】</b>「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p><b>【主】</b>進んで文語の品詞について理解し、学習課題に沿って登場人物の心情を読み取ろうとしている。</p>
<p>読む 絵仏師良秀 P 114 1 時間</p>	<p><b>【知技】</b> (1)ア, ウ, エ / (2)ウ <b>【思判表】</b> 読むこと(1)ア</p>	<p>・文語の活用について理解し、叙述を基に人物像を読み取る。</p>	<p>1 語の意味を確認しながら本文を音読する。</p> <p>2 人々と良秀の言動を読み取る。</p> <p>3 良秀の人物像について考える。(手引き 1・2)</p> <p>4 用言の活用、係り結び、接続助詞「ば」の用法を理解する。(語句と表現 1・古文学習のしるべ 2・3)</p>	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</li> <li>・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解して</li> </ul>

				<p>いる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</li> </ul> <p><b>[思判表]</b>「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p><b>[主]</b>進んで文語の活用について理解し、学習課題に沿って叙述を基に人物像を読み取ろうとしている。</p>
<p>読む 大江山の歌 P 116</p> <p>●古文学習のしるべ3 係り結び／仮定条件と 確定条件 P 118 1時間</p>	<p><b>[知技]</b> (1)ア, ウ, エ／(2)ウ <b>[思判表]</b> 読む こと(1)ア</p> <p><b>[知技]</b> (2)ウ, エ <b>[思判表]</b> 読む こと(1)ア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文語のきまりに注意しながら、登場人物の言動と和歌の内容を読み取る。</li> </ul>	<p>1 主語に注意しながら本文を音読する。</p> <p>2 定頼中納言の言動の内容を把握する。(手引き 1・3)</p> <p>3 小式部内侍のとった行動, 詠んだ和歌の内容を理解する。(手引き 2)</p> <p>4 用言の活用を確かめる。(語句と表現 1・古文学習のしるべ 2)</p> <p><input type="checkbox"/> 四つの説話の中から、興味・関心を持った作品について、グループごとに話し合い、その結果を発表する。</p> <p><input type="checkbox"/> 古文を読む基礎について確認する。(古文学習のしるべ 1・2・3)</p>	<p><b>[知技]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</li> <li>・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</li> <li>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</li> <li>・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。</li> </ul> <p><b>[思判表]</b>「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p><b>[主]</b>進んで文語のきまりや古典特有の表現について理解し、学習課題に沿って登場人物の言動と和歌の内容を読み取ろうとしている。</p>
漢文編 1 漢文入門 (5月)				

<p>読む 訓読の基本 P 230</p> <p>〔言語〕漢字の読みと意味—漢和辞典を活用しよう P 239 2時間</p>	<p>【知技】(1)ア, ウ, エ／(2)ア, ウ 【思判表】読むこと(1)ア</p> <p>【知技】(1)イ, ウ／(2)エ 【思判表】読むこと(1)ア</p>	<p>・漢文の特色を知り, 訓読のきまりを理解するとともに, 格言に親しむ。</p> <p>・漢和辞典の使い方を知り, 漢字の読みと意味の関係について理解する。</p>	<p>□中学校で学習した故事成語・唐詩・『論語』を発表し, 高校での漢文学習への意識付けを図る。</p> <p>□「訓読」の導入文を読み, 漢文とは日本語と言語構造が異なるものであり, その漢文を日本語として読む工夫が訓読であることを理解する。</p> <p><b>【訓読】</b></p> <p>1 基本構造「主語・述語」と句読点・送り仮名・書き下し文について理解する。</p> <p>2 基本構造「修飾語・被修飾語」を理解し, 句読点・送り仮名・書き下し文に慣れる。</p> <p>3 基本構造「述語・目的語(補語)」と返り点について理解し, 書き下した上で現代語訳する。(手引き1)</p> <p>4 漢文訓読に関する専門的な知識および漢文の基本構造について確認する。(手引き2)</p> <p><b>【格言】</b></p> <p>1 前半の七つの格言を音読し, 既習の訓点の知識を確認し, 返読文字と一レ点の用法について理解する。(手引き1・2・書き下し文のきまり)</p> <p>2 後半の五つの格言を音読し, 助字, 置き字と上・中・下点の用法について理解する。(主な置き字とその用法)</p> <p>3 「訓読」で学習した訓点の知識に加え, 返り点, 返読文字, 置き字について整理した上で書き下し文にし, また, 漢文の意味を考えて訓点を施す。(手引き1・2・3・書き下し文のきまり)</p>	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には, 文化の継承, 発展, 創造を支える働きがあることを理解している。</li> <li>・常用漢字の読みに慣れ, 主な常用漢字を書き, 文や文章の中で使っている。</li> <li>・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し, それらの文化的背景について理解を深め, 文章の中で使うことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・文章の意味は, 文脈の中で形成されることを理解している。</li> <li>・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</li> <li>・古典の世界に親しむために, 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり, 古典特有の表現などについて理解している。</li> <li>・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め, 古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。</li> </ul> <p><b>【思判表】</b>「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 内容や構成, 展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p><b>【主】</b>進んで漢文の特色や訓読のきまりを理解し, 見通しを持って, 古典を学ぶ意味について考えを持つようとしている。</p>
--	---	--	---	---



			<p><b>【再読文字】</b></p> <p>1 「未来」「将来」の熟語から、再読文字の用法を理解する。</p> <p>2 「再読文字」の漢文を、訓点に従って音読し、書き下し、現代語訳して、各再読文字の用法について確認する。（書き下し文のきまり・再読文字の種類と用法）</p> <p>3 「学習の手引き 1・2」に取り組み、再読文字の用法に慣れる。（手引き 1・2）</p> <p>1 「格言」の十二の格言と、「再読文字」の八つの漢文の中から、それぞれ興味・関心を持った漢文を使った例文を作り、話し合う。</p> <p>2 漢文訓読に関する基礎知識について復習する。</p> <p><input type="checkbox"/> 「言語活動 漢字の読みと意味 漢和辞典を活用しよう」を利用して、漢和辞典の項目と利用法を確認する。（言語活動 課題 1・2）</p> <p><input type="checkbox"/> 漢字の読みと意味の関係を確認し、漢字への理解を深める。</p> <p>* <input type="checkbox"/> この教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	
<p>読む 故事成語一三編〔言語〕 P240</p>	<p>【知技】(1)ア, ウ, エ/(2)イ 【思判表】読む</p>	<p>・故事成語の元になった話を読むことを通して、漢文の読</p>	<p><input type="checkbox"/> 中学校で学習した故事成語をどのように学んだか発表し、故事成語を再確認する。</p>	<p>【知技】</p> <p>・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</p>

<p>■漢文の窓 1 『韓非子』の寓話の ねらい P 241</p> <p>■漢文の窓 2 「助字」—漢文理解 の鍵 P 244 2 時間</p>	<p>こと(1)ア, エ, オ ㊦ 読むこと(2) イ</p> <p>[知技] (2)イ, エ [思判表] 読む こと(1)ア</p> <p>[知技] (2)ウ [思判表] 読む こと(1)ア</p>	<p>解に慣れ親しむ。</p>	<p>□知っている「故事成語」を、国語便覧等を使いグループで調べ、意味や背景について理解を広げる。</p> <p><b>【矛盾】</b></p> <p>1 本文を繰り返し音読し、正しく書き下し文を書くことで、書き下し文のきまりを確認する。</p> <p>2 脚注や語句・句法の説明を手がかりに現代語訳し、内容を整理する。(手引き 1・2)</p> <p>3 「矛盾」の意味を確認し、「矛盾」を使った短文を書く。(語句と表現 1)</p> <p>4 『韓非子』において「矛盾」が儒家批判のための寓話であったことを理解する。(漢文の窓 1)</p> <p><b>【助長】</b></p> <p>1 訓点に従って正確に読めるようになるまで、繰り返し音読する。</p> <p>2 書き下し文を書くことで、書き下し文のきまりを確認する。(手引き 1)</p> <p>3 脚注や語句・句法の説明を手がかりに現代語訳し、内容を整理する。(手引き 2)</p> <p>4 「助長」の意味を確認するとともに、身近なところの例を探し、発表する。(語句と表現 1)</p> <p>5 グループで孟子の様々な言葉を調べ、その意味を発表する。</p> <p><b>【推敲】</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</li> <li>・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。</li> <li>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</li> <li>・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。</li> </ul> <p><b>【思判表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</li> <li>・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</li> </ul> <p><b>【主】</b>進んで訓読のきまりを理解し、学習課題に沿って、故事成語の元になった話を読み、故事成語の果たす役割について考えようとしている。</p>
---	--	-----------------	---	--

			<p>1 本文を繰り返し音読し、再読文字の箇所を含め、書き下し文を確認する。</p> <p>2 脚注を参照して正確に現代語訳し、内容を理解する。 (手引き 1・2)</p> <p>3 本文の韓愈の発言についてグループで話し合う。(言語活動)</p> <p>4 「推敲」の意味を確認するとともに、「推敲」を使った短文を書く。(語句と表現 1)</p> <p><input type="checkbox"/> 3つの話の内容を確認し、それぞれの趣旨をふりかえる。</p> <p><input type="checkbox"/> 国語便覧などを用い、本教材以外の故事成語に触れる。</p> <p><input type="checkbox"/> 故事成語が日常のどのような場面で使われているか、話し合い発表する。</p> <p><input type="checkbox"/> 故事成語が、今も身近にあつて、我々のあり方・生き方を考える言葉であることを理解する。</p> <p>* <input type="checkbox"/> D この教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	
--	--	--	--	--

現代文編 2 小説 1 (5～6月)

<p>読む 羅生門〔言語〕 P22 3時間</p>	<p>【知技】(1)ア, イ, ウ, エ 【思判表】読むこと(1)ア, オ</p>	<p>・ 極限状態にある登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、主題について考える。</p>	<p>&lt;第1時&gt;</p> <p>1 全文を通読し、時代背景を確かめる。(手引き <input type="checkbox"/> 1)</p> <p>2 場面の变化に注意して、本文全体を四つの意味段落に分ける。(手引き <input type="checkbox"/> 2)</p> <p>3 「作者」の説明に従って、「下人」の内面の状態を具</p>	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</li> <li>・ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。</li> <li>・ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それら</li> </ul>
---------------------------------------	---	--	---	---

			<p>体的に読み取り，まとめる。(手引き<sup>3</sup>1)</p> <p>4「作者」の説明に従って，「下人」の行動を順に従って整理する。</p> <p>5「下人」の内面の変化を順に従って整理する。(手引き<sup>2</sup>)</p> <p><b>&lt;第2時&gt;</b></p> <p>1「下人」と「老婆」の行動を順を追って整理する。</p> <p>2「下人」と「老婆」の会話部分の意味を読み取り，まとめる。(手引き<sup>4</sup>1)</p> <p>3「下人」の内面の変化を，変化のきっかけと関連づけながら，整理する。(手引き<sup>2</sup>・<sup>3</sup>2・<sup>4</sup>2)</p> <p>4「下人」の内面を「作者」が説明している部分を抜き出し，「下人」と「老婆」のほかに，もう一人の登場人物(陰のような人物)がいる小説の構造について考え，まとめる。(手引き<sup>3</sup>2)</p> <p><b>&lt;第3時&gt;</b></p> <p>1「黒洞々たる夜」という表現に留意して，「老婆」のその後について考える。</p> <p>2「下人の行方は，誰も知らない。」という末文の意味を考える。(手引き<sup>5</sup>)</p> <p>3小説の主題について，自分なりに考えて発表する。</p> <p>4「老婆(下人)」の発言についてどのように思うか考えをまとめて討論する。(言語活動)</p>	<p>の文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>・文章の意味は，文脈の中で形成されることを理解している。</p> <p><b>[思判表]</b></p> <p>・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p>・「読むこと」において，作品の内容や解釈を踏まえ，自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</p> <p><b>[主]</b> 進んで描かれている内容についての見解をまとめ，学習課題に沿って，発表や討論を通じて得た他の意見も踏まえながら，考えを深めようとしている。</p>
--	--	--	---	--

			* <b>D</b> この教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。	
〔言語〕 翻案作品を原作と読み比べる P 36 1 時間	〔知技〕 (1)ア 〔思判表〕 読むこと(1)エ, オ ④ 読むこと(2)ウ	・ 古典を元にして作られた作品を原作と読み比べ、理解を深める。	1 翻案作品とはどのようなものか確認する。 2 原作 (37 ページ) の本文の A～D について、「羅生門」で対応する箇所を探し、36 ページの (1)～(3) のいずれに該当するか考える。 3 2 を基に原作と「羅生門」を比較し、「羅生門」で省略・変更されている点が果たす役割について考える。 4 原作の波線ア～ケについて、「羅生門」で対応する箇所を探し、36 ページの (1)～(3) のいずれに該当するか考える。(課題 1) 5 4 で検討した中から、重要だと思うものを選び、「羅生門」の創作性にとってどのように重要か、自分の考えをまとめ、話し合う。(課題 2) 6 「大刀帯の陣に魚を売る媪のこと」(『今昔物語集』) と「羅生門」を比較し、同様に分析する。(課題 3) 7 近代小説における古典文学の翻案の例を調べ、発表する。(課題 4)	〔知技〕 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 〔思判表〕 ・ 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景やほかの作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ・ 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持っている。 〔主〕進んで古典を元にして作られた作品について理解を深め、学習課題に沿って、翻案作品と原作との違いや、翻案作品の創作性について考えようとしている。
読む 雨漏りの音〔言語〕 P 40  ■小説の読み方 P 48	〔知技〕 (1)ア, イ, ウ, エ 〔思判表〕 読むこと(1)ア, オ  〔知技〕 (2)カ 〔思判表〕 読む	・ 現代を舞台とした小説を読み、登場人物の心情の変化や人間関係の在り方について考える。	<第 1 時> 1 時間の経過に注意しながら、本文を通読する。(手引き 1) 2 一つ目の物件の雨漏りに対する苗と晴人の反応の違いを押さえ、その理由を考える。(手引き 2) 3 一つ目の物件を見て、二人が同じ感想を持った理由を考える。(手引き 3)	〔知技〕 ・ 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解して

2時間	こと(1)イ, ウ		<p><b>&lt;第2時&gt;</b></p> <p>1 二つ目の物件に向かう車内で, 茜が雨漏りの音について思い出した内容と, 思い出した理由を捉える。</p> <p>2 「いつの間にか」という表現の効果について考える。(手引き4)</p> <p>3 二つ目の物件で茜が抱いた気持ちについて考える。(手引き5)</p> <p>4 「なんの役割もない生身の生き物みたいな目をした。」について, このとき茜がどのようなことを感じたのか話し合う。(言語活動)</p>	<p>いる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。</li> </ul> <p><b>【思判表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 内容や構成, 展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</li> <li>「読むこと」において, 作品や文章に表れているものの見方, 感じ方, 考え方を捉え, 内容を解釈している。</li> <li>「読むこと」において, 文章の構成や展開, 表現の仕方, 表現の特色について評価している。</li> <li>「読むこと」において, 作品の内容や解釈を踏まえ, 自分のものの見方, 感じ方, 考え方を深め, 我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</li> </ul> <p><b>【主】</b> 進んで本文の内容や構成, 展開を的確に捉え, 学習課題に沿って, 登場人物の心の動きを読み取り, 人間関係の在り方について考えようとしている。</p>
-----	-----------	--	---	--

古文編2 随筆 (6～7月)

<p>読む 徒然草 [言語]</p> <p>P120 2時間</p>	<p><b>【知技】</b> (1)ア, ウ, エ / (2)ウ</p> <p><b>【思判表】</b> 読むこと(1)ア, イ, オ</p> <p>㊦ 読むこと(2)イ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>随筆に表れた作者の考えを, 叙述を基に的確に捉える。</li> </ul>	<p>□ 『徒然草』と作者について, 必要な知識を得る。</p> <p><b>【丹波に出雲といふ所あり】</b></p> <p>1 主語を確認しながら, 話のあらすじを読み取る。(語句と表現1)</p> <p>2 聖海上人の言葉の変化に沿って, その心情を読み取る。(手引き1)</p> <p>3 この話のおもしろさは, どういうところにあるか説明する。(手引き2・3)</p>	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>言葉には, 文化の継承, 発展, 創造を支える働きがあることを理解している。</li> <li>我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し, それらの文化的背景について理解を深め, 文章の中で使うことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>文章の意味は, 文脈の中で形成されることを理解している。</li> <li>古典の世界に親しむために, 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり, 古典特有の表現などについて理解している。</li> </ul> <p><b>【思判表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 内容</li> </ul>
--	---	--	---	---

			<p><b>【ある人、弓射ることを習ふに】</b></p> <p>1 全文を音読し、話のあらすじを読み取る。(語句と表現 1)</p> <p>2 第一段落と第二段落の関係を理解する。(手引き 1・2)</p> <p>3 主題を考える。(手引き 3)</p> <p><b>【九月二十日のころ】</b></p> <p>1 主語に注意しながら、話のあらすじを読み取る。(手引き 1・語句と表現 1・2)</p> <p>2 人物の行動を整理し、まとめる。(手引き 1)</p> <p>3 作者は、「その人」のどのようなところに感動したのかを考える。(手引き 2・3)</p> <p>4 絵の違いを見つけ、その違いについて考えたことを話し合う。(言語活動)</p> <p><b>【今日はそのことをなさんと思へど】</b></p> <p>1 話のあらすじを読み取る。(語句と表現 1・2)</p> <p>2 本文の主旨を理解する。(手引き 1・2)</p> <p>3 作者の考え方について話し合う。(手引き 3)</p> <p><input type="checkbox"/> 四つの教材について、作者は伝聞したことや自分の考えをどのようにまとめているか、考える。</p> <p><input type="checkbox"/> 『徒然草』や作者について、知識を深める。</p>	<p>や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</li> <li>・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持っている。</li> </ul> <p>[主] 進んで文語のきまりや古典特有の表現を理解し、学習課題に沿って作者の考えを的確に捉えようとしている。</p>
<p>読む 方丈記  P 128</p>	<p>[知技] (1)ア, ウ, エ / (2)ウ [思判表] 読む</p>	<p>・表現の特色に注意しながら、作品の内容を解釈する。</p>	<p><input type="checkbox"/> 『方丈記』の内容と作者、時代背景についてまとめる。</p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</li> </ul>

<p>■古文の窓1 五大災厄—無常観の背景 P130 1時間</p>	<p>こと(1)ア, イ, ウ [知技] (2)イ [思判表] 読むこと(1)エ</p>		<p><b>【ゆく河の流れ】</b> 1 全文を繰り返し音読し, その構成と内容を捉える。(語句と表現1~3) 2 「人」と「栖」と, 「ゆく河の流れ」と「淀みに浮かぶうたかた」との類似点について考える。(手引き1) 3 「無常を争ふさま」とはどのようなことかを踏まえて, 『方丈記』で描かれる「無常観」について考える。(手引き2・古文の窓1)  □対句表現や比喻などを指摘し, その効果を考える。(語句と表現3)</p>	<p>・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し, それらの文化的背景について理解を深め, 文章の中で使うことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は, 文脈の中で形成されることを理解している。 ・古典の世界に親しむために, 作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために, 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり, 古典特有の表現などについて理解している。 <b>[思判表]</b> ・「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 内容や構成, 展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において, 作品や文章に表れているものの見方, 感じ方, 考え方を捉え, 内容を解釈している。 ・「読むこと」において, 文章の構成や展開, 表現の仕方, 表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において, 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ, 内容の解釈を深めている。 <b>[主]</b>進んで表現の特色を理解しながら作品の内容を解釈し, 学習課題に沿って『方丈記』で描かれる「無常観」について考えようとしている。</p>
<p>読む 枕草子〔言語〕 P132</p>	<p>[知技] (1)ア, ウ, エ/(2)ウ, エ [思判表] 読むこと(1)ア, イ, オ ㊦ 読むこと(2)</p>	<p>・作品の内容を自分と関係づけながら, ものの見方, 感じ方, 考え方を深める。</p>	<p>□この作品の内容と作者について, 今までの学習で得ていた知識とともに, 簡単に整理し, 理解する。  <b>【五月ばかりなどに山里に歩く】</b> 1 第一段落の情景描写の特徴をまとめる。(手引き1) 2 第二段落で描かれた出来事について考える。(手引き</p>	<p><b>[知技]</b> ・言葉には, 文化の継承, 発展, 創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し, それらの文化的背景について理解を深め, 文章の中で使うことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は, 文脈の中で形成されることを理解して</p>



<p>■古文の窓2 『枕草子』のパロディ P136 2時間</p>	<p>イ [知技] (1)ア/ (2)イ [思判表] 読む こと(1)エ</p>		<p>2) 3本文全体から読み取れる作者の気分をまとめる。(手 引き3) 4類義語の意味の違い, 格助詞「の」の用法を知る。(語 句と表現1・2)</p> <p><b>【ありがたきもの】</b> 1この章段での「ありがたし」の意味を, 列挙されてい るものから類推する。(手引き1) 2列挙された事例の特徴を考える。(手引き2) 3『枕草子』や江戸時代に作られたそのパロディを参考 にしながら, 自分にとっての「ありがたきもの」およ び現代版「〇〇もの」を書く。(古文の窓2・言語活 動1)</p> <p><input type="checkbox"/>整理し比較することで, 三作品それぞれの特徴を捉え る。(言語活動2)</p>	<p>いる。 ・古典の世界に親しむために, 作品や文章の歴史的・文 化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために, 古典を読むために必要な 文語のきまりや訓読のきまり, 古典特有の表現などに ついて理解している。 ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言 葉の変化について理解を深め, 古典の言葉と現代の言 葉とのつながりについて理解している。</p> <p><b>【思判表】</b> ・「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 内容 や構成, 展開などについて叙述を基に的確に捉えてい る。 ・「読むこと」において, 作品や文章に表れているもの の見方, 感じ方, 考え方を捉え, 内容を解釈している。 ・「読むこと」において, 作品や文章の成立した背景や 他の作品などとの関係を踏まえ, 内容の解釈を深めて いる。 ・「読むこと」において, 作品の内容や解釈を踏まえ, 自分のものの見方, 感じ方, 考え方を深め, 我が国の 言語文化について自分の考えをもっている。</p> <p><b>【主】</b>進んで自分のものの見方, 感じ方, 考え方を深め, 学習課題に沿って, 作者のものの見方や感じ方, 考 え方を捉えたり, 自分と関係づけて考えたりしようとし ている。</p>
<p>漢文編2 寓話 (7月)</p>				
<p>読む 寓話—三編 P246</p>	<p>[知技] (1)ア, ウ, エ/(2)ア, ウ [思判表] 読む こと(1)ア, イ</p>	<p>・話の展開や登場人 物の言動を読み取 り, 寓話に込められ た意図について考 える。</p>	<p><input type="checkbox"/>「寓話」の辞書上の意味を確認する。 <input type="checkbox"/>故事成語として知られている「寓話」を国語便覧や漢 和辞典等で調べる。</p>	<p><b>【知技】</b> ・言葉には, 文化の継承, 発展, 創造を支える働きがあ ることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し, それら の文化的背景について理解を深め, 文章の中で使うこ</p>

<p>■漢文の窓3 名前の表し方 P 250 3 時間</p>	<p>[知技] (2)ア, ウ [思判表] 読むこと(1)ア</p>		<p><b>【借虎威】</b> 1 本文を音読し、漢文特有の読み方に慣れる。 2 本文を書き下し文にし、現代語訳する。(手引き1) 3 本文の漢字の用法や句法について整理する。 4 「虎の威を借る(狐)」という故事成語について理解を深める。(語句と表現1)</p> <p><b>【朝三暮四】</b> 1 本文を音読し、漢文特有の読み方に慣れる。 2 本文を書き下し文にし、登場人物の場面ごとの言動をまとめる。 3 漢文の重要表現の種類と用法を確認し、整理する。(手引き1) 4 衆狙の反応(怒・喜)の変化について考える。(手引き2・語句と表現1)</p> <p><b>【塞翁馬】</b> 1 本文を音読する。 2 本文を書き下し文にし、登場人物の場面ごとの言動を確認する。(手引き1) 3 「禍」「福」に対する「塞翁」と周囲の人々との捉え方に注意して現代語訳する。(手引き1・2・3)</p> <p><input type="checkbox"/> 「塞翁が馬」やその他の故事成語について調べる。(語句と表現1・2) <input type="checkbox"/> 寓話三編を通して作者の意図や、背景にある思想を理解する。</p>	<p>とを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p><b>【思判表】</b> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</p> <p><b>【主】</b>進んで訓読のきまりを理解し、学習課題に沿って、話の展開や登場人物の言動を読み取り、寓話に込められた意図について考えようとしている。</p>
---	--	--	--	---

			□一人の人間について、現代日本の一般とは違い、複数の「名前」があることを理解する。(漢文の窓3)	
■ 2学期				
現代文編3 詩歌(9月)				
読む こころの鉦—短歌抄 P52	[知技](1)ア,ウ [思判表]読む こと(1)ア,ウ	・短歌独自の特徴と表現効果を理解し、言葉に込められた情景や心情を読み取る。	1短歌とはどのようなものか、どのような短歌を知っているかなどについて話し合う。 2掲載された短歌を音読し、リズムを味わい、短歌に慣れる。(手引き1) 3それぞれの歌について、読解・鑑賞をして話し合う。(手引き2・3) 4掲載された短歌の中から印象に残った一首を選んで、四百字程度の感想文を書く。(手引き4)	[知技] ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [思判表] ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。
読む 秋の航—俳句抄 P56 1時間	[知技](1)ア,ウ [思判表]読む こと(1)ア,ウ	・俳句独自の特徴と表現効果を理解し、想像力を働かせて句の主題を読み取る。	1五・七・五の定型詩・季語・切れ(切れ字)・取り合わせなど、俳句の基礎知識・概念を認識し、知っている俳句・俳人などを発表し合うことで、俳句に対して興味を持つ。 2掲載された俳句を音読し、リズムを味わい、俳句に慣れる。(手引き1) 3それぞれの句について、読解・鑑賞をして話し合う。(手引き2・3) 4掲載された俳句の中から印象に残った一句を選んで、四百字程度の感想文を書く。(手引き4)  *Dこの教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。	・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 [主]進んで短歌や俳句の特徴や表現効果を理解し、学習課題に沿って、それぞれの歌に込められた情景や心情を読み取ろうとしている。
読む 小景異情	[知技](1)ア,ウ [思判表]読む	・リズムや形式に注意して詩を読み味	1教師の範読後に何回か読み、文語詩独特の表現やリズムについて気づいた点を挙げる。(手引き1)	[知技] ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあ

<p>読む 一つのメルヘン</p> <p>P60 P62 1時間</p>	<p>こと(1)ア, イ</p> <p>[知技] (1)ア, ウ [思判表] 読む こと(1)ア, イ</p>	<p>わい, 「ふるさと」に対する作者の心情について考える。</p> <p>・ 幻想的なイメージを味わい, そこに込められた作者の心情について考える。</p>	<p>2 全体の意味を捉え, 「ふるさと」への作者の思いを理解する。(手引き2・3)</p> <p>3 反復法とその効果を理解する。(手引き1)</p> <p>4 「ふるさと」への作者の思いを考えて話し合う。(手引き4)</p> <p>1 リズムに注意しながら音読する。(手引き1)</p> <p>2 各連に描かれた情景をまとめる。(手引き2)</p> <p>3 この詩に用いられている表現の効果について考える。(手引き3)</p> <p>4 この詩を読み味わったうえで, 感じたことを話し合う。(手引き4)</p>	<p>ることを理解している。</p> <p>・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し, それらの文化的背景について理解を深め, 文章の中で使うことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>[思判表]</p> <p>・「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 内容や構成, 展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p>・「読むこと」において, 作品や文章に表れているものの見方, 感じ方, 考え方を捉え, 内容を解釈している。</p> <p>[主] 進んでリズムや形式に注意して詩を読み味わい, 学習課題に沿って, それぞれの詩に込められた作者の心情について考えようとしている。</p>
<p>読む I was born</p> <p>P64 1時間</p>	<p>[知技] (1)ア, ウ [思判表] 読む こと(1)ア, イ</p>	<p>・ 散文詩を読み, 蜻蛉(かげろう)のイメージに託された生命への思いを深く味わう。</p>	<p>1 詩を音読して, 全体を把握する。</p> <p>2 散文詩の特徴を理解し, 独特な表現やリズムを味わう。(手引き1・現代文の窓1)</p> <p>3 「父」に話しかけるまでの「僕」の気持ちの流れを読み取り, まとめる。(手引き2)</p> <p>4 「父」の話の内容を理解し, そこに込められた「父」の思いと, 「父」の話聞いた「僕」の思いを読み取り, まとめる。(手引き3・4)</p> <p>5 題名に込められた作者の思いについて話し合う。(手引き5)</p>	<p>[知技]</p> <p>・言葉には, 文化の継承, 発展, 創造を支える働きがあることを理解している。</p> <p>・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し, それらの文化的背景について理解を深め, 文章の中で使うことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>[思判表]</p> <p>・「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 内容や構成, 展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p>・「読むこと」において, 作品や文章に表れているものの見方, 感じ方, 考え方を捉え, 内容を解釈している。</p> <p>[主] 進んで散文詩を読み味わい, 学習課題に沿って, 詩や題名に込められた作者の思いについて考えようとしている。</p>
<p>読む あいだ</p> <p>P68</p>	<p>[知技] (1)ア, ウ [思判表] 読む こと(1)ア, ウ</p>	<p>・ 詩に込められた作者の心情を理解し, 人と人との関係の</p>	<p>1 詩を音読し, 表現の工夫について気づいた点を挙げる。(手引き1)</p> <p>2 作者が用いている特徴的な表現について考え, 詩を読</p>	<p>[知技]</p> <p>・言葉には, 文化の継承, 発展, 創造を支える働きがあることを理解している。</p>

<p>■現代文の窓1 文語定型詩から口語自由詩へ</p> <p>P70 1時間</p>	<p>【知技】(1)ア／ (2)ア 【思判表】読む こと(1)エ</p>	<p>在り方について考える。</p>	<p>み深める。(手引き2) 3 終わりの三行に込められた作者の思いについて考える。(手引き3)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</li> </ul> <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</li> <li>「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</li> <li>「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</li> </ul> <p>【主】 進んで詩の表現の仕方や特色を捉え、学習課題に沿って、詩に込められた作者の心情を理解し、人と人との関係の在り方について考えようとしている。</p>
<p>古文編3 歌物語 (9月)</p>				
<p>読む 伊勢物語</p> <p>P138</p> <p>●古文学習のしるべ4 和歌の解釈</p> <p>P140 2時間</p>	<p>【知技】(1)ア、 ウ、エ／(2)ウ 【思判表】読む こと(1)ア、イ、 ウ</p> <p>【知技】(2)ウ 【思判表】読む こと(1)ア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌物語に描かれている内容を、叙述を基に的確に捉える。</li> </ul>	<p>□作品についての教師の解説を聞き、その概略を理解する。(古文の窓3)</p> <p>【芥川】</p> <p>1 本文を音読した後、概略を発表し、ノートにまとめる。 2 女の高貴性と男の心情の推移を読み取る。また、「白玉か…」の歌に込められた男の心情と歌の役割を考える。(手引き1・2・語句と表現1・古文学習のしるべ4)</p> <p>【東下り】</p> <p>1 本文を通読し、旅の行程に注目しながら、三つの場面</p>	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</li> <li>我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</li> <li>古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</li> </ul> <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容</li> </ul>

			<p>に分ける。(手引き1)</p> <p>2 第一段落の重要語に注意し、通釈する。</p> <p>3 主人公の「男」が「東下り」をするに至った事情について学び、その時の男の心情を考える。</p> <p>4 「唐衣…」の歌に用いられた和歌の修辞を理解するとともに、そこに詠み込まれた心情を理解する。(手引き2)</p> <p>5 第二～第五段落において、どのような場所を、どのように旅したか、具体的に考える。</p> <p>6 第二～第四段落において、「宇津の山」「富士の山」がどのように描写され、和歌に取り入れられているか考える。</p> <p>7 第五段落において、「すみだ川」のほitoriでの、男たちの心情について考える。(手引き3)</p> <p>8 全体を読み直し、男たちの心情の変化を、和歌に着目し、整理する。(手引き4)</p> <p><b>【筒井筒】</b></p> <p>1 本文を音読した後、三つの場面に分けて、各場面の大意をノートにまとめる。(手引き1・古文の窓3)</p> <p>2 「筒井筒…」 「くらべこし…」の歌に込められたそれぞれの心情を想像する。(手引き2)</p> <p>3 本文を精読し、筒井筒の女、高安の女の人物像を比較してまとめる。(手引き3)</p> <p>4 古今異義語や助詞の用法を確認する。(語句と表現1)</p> <p><b>【梓弓】</b></p>	<p>や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</li> <li>・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</li> </ul> <p><b>【主】</b> 進んで歌物語の特徴や表現の仕方について理解し、学習課題に沿って、各章段に描かれた内容を的確に捉えようとしている。</p>
--	--	--	--	--

			<p>1 本文を音読し、概略を理解する。</p> <p>2 男と女の行動を順を追って整理する。(手引き1)</p> <p>3 和歌を中心に、男と女の心情を捉える。(手引き2)</p> <p>4 紛らわしい語の識別方法を確認する。(語句と表現1)</p>	
<p>読む</p> <p>〔言語〕『伊勢物語』と 絵画・工芸</p> <p>P 150</p> <p>■ 古文の窓 3 恋愛と結婚</p> <p>P 152 1 時間</p>	<p>【知技】(1)ア 【思判表】読む こと(1)ア, オ</p> <p>【知技】(2)イ, ウ 【思判表】読む こと(1)エ</p>	<p>・ 古典を元にした絵画・工芸を通して、文章の内容を捉え直す。</p>	<p>1 『伊勢物語』が後世に与えた影響の一つに、絵画・工芸があることを確認する。</p> <p>2 151 ページの①～③の絵が、「東下り」のどの場面を描いたものか考える。(課題1)</p> <p>3 ①～③から好きな絵を選び、「東下り」の本文が絵ではどのように表現されているか、解説文を書く。(課題2)</p> <p><input type="checkbox"/> 『伊勢物語』が、文学や芸能などの世界で、どのような影響を及ぼしたか調べ、発表する。</p> <p><input type="checkbox"/> 「歌物語」と呼ばれる『伊勢物語』における本文と和歌との関係や役割について考える。</p> <p><input type="checkbox"/> 「古文の窓3」を読み、当時の恋愛や結婚について理解する。(古文の窓3)</p>	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</li> <li>・ 古典の作品に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。</li> <li>・ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</li> </ul> <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</li> <li>・ 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</li> <li>・ 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</li> </ul> <p>【主】進んで古典を元にした絵画・工芸について理解し、学習課題に沿って、文章の内容を捉え直そうとしている。</p>
古文編4 日記(10月)				
<p>読む</p> <p>土佐日記</p> <p>P 154</p>	<p>【知技】(1)ア, ウ, エ/(2)ウ 【思判表】読む こと(1)ア, ウ,</p>	<p>・ 表現の特色を踏まえて、作品に込められた意図を考える。</p>	<p><input type="checkbox"/> 日記と日記文学の違い、『土佐日記』と作者について概略を理解する。</p>	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</li> <li>・ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それら</li> </ul>

<p>■古文の窓 4 吉日・吉方と旅立ち P 155</p> <p>■古文の窓 5 和語と漢語 P 160 2 時間</p>	<p>エ</p> <p>[知技] (2)イ [思判表] 読む こと(1)エ</p> <p>[知技] (1)ウ/ (2)ア, イ [思判表] 読む こと(1)エ</p>		<p><b>【馬のはなむけ】</b></p> <p>1 臙化表現を指摘し、この作品の表現の特色を考える。 (手引き 1・語句と表現 1)</p> <p>2 この章段に書かれた旅立ちの様子を読み取る。(手引き 2・古文の窓 4)</p> <p>3 冒頭の一文から、作者がどのような日記を書こうとしているのかを考える。(手引き 3・語句と表現 2)</p> <p><b>【羽根といふ所】</b></p> <p>1 前半〔初め～一五六・6〕を読み、書かれている内容のあらましを読み取る。(手引き 1)</p> <p>2 後半〔一五六・7～終わり〕を読み、和歌を詠むに至った経緯、および和歌の内容を読み取り、作者や母の悲しみとは何かを理解する。(手引き 2・3・語句と表現 1)</p> <p>3 文末、あるいは省略表現に着目し、特徴的な表現についてその意味や効果を考える。(語句と表現 2)</p> <p><b>【帰京】</b></p> <p>1 全体を読み、帰宅した時の家の様子と、その時の作者の心情を読み取る。(手引き 1・語句と表現 1・2)</p> <p>2 和歌を詠むに至った経緯や、和歌に託された心情を読み取る。(手引き 2・語句と表現 2)</p> <p>3 末尾の一文を読み取り、冒頭と照応している結語であることを理解する。(手引き 3)</p>	<p>の文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</li> <li>我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</li> <li>古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。</li> <li>古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</li> </ul> <p><b>【思判表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</li> <li>「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</li> <li>「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</li> </ul> <p><b>【主】</b> 進んで本文の表現の特色を理解し、学習課題に沿って、作品に込められた意図を考えようとしている。</p>
--	---	--	--	---



			<input type="checkbox"/> 『土佐日記』の文学史的な位置づけやその後の作品に与えた影響等を調べる。 <input type="checkbox"/> 教材全体の中から作者の表現の工夫が分かる箇所を抜き出し、その効果とともにまとめる。	
漢文編3 詩文 (10月)				
読む 絶句と律詩一八首 〔言語〕 P 252  ■漢文の窓4 漢詩の形式ときまり P 259 2時間	<b>【知技】</b> (1)ア, ウ, エ/(2)ア, イ, ウ <b>【思判表】</b> 読むこと(1)ア, イ, ウ, エ, オ ㊦ 読むこと(2) イ, ウ  <b>【知技】</b> (2)ウ <b>【思判表】</b> 読むこと(1)ア	・漢詩に描かれている情景や心情を読み取り、優れた表現に親しむ。	<input type="checkbox"/> 唐という時代の特色、日本との関係などを理解する。 <input type="checkbox"/> 「漢文の窓4 漢詩の形式ときまり」を読み、近体詩の最低限のきまりを理解する。(漢文の窓4)  <b>【鹿柴】【春暁】【春暁】</b> 1 それぞれの詩の詩形と押韻を確認する。(手引き3・漢文の窓4) 2 それぞれの詩を訓点に従って正確に音読し、書き下す。 3 展開に注意して現代語訳し、「自然」という章立てを意識しつつ、うたわれている状況を考える。(手引き1) 4 「自然」という章立てを意識しつつ、それぞれのどのような心情がうたわれているかを考える。(手引き2) 5 理解した詩の内容をもとにそれぞれ暗唱する。(手引き4) 6 孟浩然と幸田露伴の「春暁」(253ページ)を読み比べて、二つの詩の違いを論じる。(言語活動)  <b>【送元二使安西】【黄鶴楼送孟浩然之広陵】</b> 1 それぞれの詩の詩形と押韻を確認する。(手引き3・漢文の窓4) 2 それぞれの詩を訓点に従って正確に音読し、書き下	<b>【知技】</b> ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。  <b>【思判表】</b> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めて

			<p>す。</p> <p>3 展開に注意して現代語訳し、「友情」という章立てを意識しつつ、うたわれている状況を考える。(手引き 1)</p> <p>4 「友情」という章立てを意識しつつ、それぞれのどのような心情がうたわれているかを考える。(手引き 2)</p> <p>5 理解した詩の内容をもとにそれぞれ暗唱する。(手引き 4)</p> <p><b>【涼州詞】【春望】【香炉峰下、……】</b></p> <p>1 それぞれの詩の詩形と押韻および対句を確認する。 (手引き 3・語句と表現 1・漢文の窓 4)</p> <p>2 それぞれの詩を訓点に従って正確に音読し、書き下す。</p> <p>3 展開に注意して現代語訳し、「人生」という章立てを意識しつつ、うたわれている状況を考える。(手引き 1)</p> <p>4 「人生」という章立てを意識しつつ、それぞれのどのような心情がうたわれているかを考える。(手引き 2)</p> <p>5 理解した詩の内容をもとにそれぞれ暗唱する。(手引き 4)</p> <p>6 唐詩に関する規則と特徴について復習し、多様で魅力にあふれた唐詩の世界を読み味わう。</p> <p>* <b>D</b>この教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	<p>いる。</p> <p>・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</p> <p><b>【主】</b>進んで漢詩の形式ときまりを理解し、学習課題に沿って、漢詩に描かれた情景や心情を読み取り、優れた表現に親しもうとしている。</p>
--	--	--	---	---

<p>読む 文</p> <p>P 260 1 時間</p>	<p>[知技] (1)ア, ウ, エ / (2)イ [思判表] 読む こと(1)ア, イ, ウ</p>	<p>・描かれた状況を考 えながら, 文を読 み, 作者の主張につ いて考える。</p>	<p>□本文を音読し, 漢文訓読に慣れる。</p> <p><b>【雑説】</b> 1 本文を書き下し文にし, 現代語訳する。(手引き 1) 2 「也」の用法と部分否定の確認をする。(語句と表 現 1・2) 3 段落相互の関係に留意し, 各段落の要点を整理す る。(手引き 2) 4 作者は「伯樂」と「千里馬(名馬)」の比喻によっ て何を主張しようとしたのかを考える。(手引き 3)</p> <p>1 韓愈の感慨について考えてみる。</p>	<p><b>【知技】</b> ・言葉には, 文化の継承, 発展, 創造を支える働きがあ ることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し, それら の文化的背景について理解を深め, 文章の中で使うこ とを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は, 文脈の中で形成されることを理解して いる。 ・古典の世界に親しむために, 作品や文章の歴史的・文 化的背景などを理解している。</p> <p><b>【思判表】</b> ・「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 内容 や構成, 展開などについて叙述を基に的確に捉えてい る。 ・「読むこと」において, 作品や文章に表れているもの の見方, 感じ方, 考え方を捉え, 内容を解釈している。 ・「読むこと」において, 文章の構成や展開, 表現の仕 方, 表現の特色について評価している。</p> <p><b>【主】</b> 進んで文章の構成や漢文特有の表現を理解し, 学 習課題に沿って, 描かれた状況をふまえて作者の主張 について考えようとしている。</p>
<p>書く 〔言語〕 訳詩を書く</p> <p>P 262 1 時間</p>	<p>[知技] (1)ウ / (2)ウ, エ [思判表] 書く こと(1)ア, イ</p>	<p>・元の漢詩の魅力が 効果的に伝わるよ うに, 表現を工夫し て訳詩を書く。</p>	<p>□自分の選んだ漢詩の内容を確認し, 具体的にイメー ジを膨らませる。(課題①② 1・2) □訳詩を書き, 推敲する。(課題② 3・4)</p>	<p><b>【知技】</b> ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し, それら の文化的背景について理解を深め, 文章の中で使うこ とを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の世界に親しむために, 古典を読むために必要な 文語のきまりや訓読のきまり, 古典特有の表現などにつ いて理解している。 ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言 葉の変化について理解を深め, 古典の言葉と現代の言 葉とのつながりについて理解している。</p>

				<p><b>【思判表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。</li> <li>・「書くこと」において、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。</li> </ul> <p><b>【主】</b> 進んで言葉の選び方や表現の仕方を工夫し、学習課題に沿って、元の漢詩の魅力が伝わるように訳詩を書こうとしている。</p>
現代文編4 小説2 (11月)				
<p>読む 富嶽百景 [言語] P72</p> <p>■現代文の窓3 「富士は日本一の山」 か？ P98 3時間</p>	<p><b>【知技】</b> (1)ア、イ、ウ、エ <b>【思判表】</b> 読むこと(1)ア、オ</p> <p><b>【知技】</b> (1)ア／(2)ア <b>【思判表】</b> 読むこと(1)エ</p>	<p>・主人公の心情の変化と、富士山や周囲の人々についての描写に注意して、小説を読み味わう。</p>	<p><b>&lt;第1時&gt;</b></p> <p>1 教科書の作者紹介などを見て、太宰治についておおよその知識を得る。</p> <p>2 富士山の姿がどのように変化するかに注意して、本文を通読する。(手引き1)</p> <p>3 ストーリーと直接関係のない第一段を作品冒頭に置いた作者のねらいや効果について考える。</p> <p><b>&lt;第2時&gt;</b></p> <p>1 第二段～第五段を読み、「私」は、周囲の人々の態度や人柄に対してどのような感じを持ったか、整理する。(手引き2)</p> <p>2 周囲の人々との触れ合いを通じて、「私」がどのように影響を受け、心情を変化させていったかについて考え、まとめる。</p>	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</li> <li>・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。</li> <li>・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</li> <li>・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</li> </ul> <p><b>【思判表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</li> <li>・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、</li> </ul>

			<p><b>&lt;第3時&gt;</b></p> <p>1 「私」の「富士」に対する気持ちの変化について考える。(手引き3)</p> <p>2 本文において、「富士」がどのような役割を果たしていると思うか、話し合う。(手引き4)</p> <p>3 この文章の魅力はどのようなところにあるか、また、どのようなことが主題だと思うか、話し合う。</p> <p>1 「読書案内」〔288 ページ〕に紹介された本から一冊選んで読み、その本を紹介するスピーチをする。(言語活動)</p> <p>* <b>D</b> この教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	<p>自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</p> <p><b>[主]</b> 進んで本文の内容や構成、展開などを捉え、学習課題に沿って、主人公の心情の変化と、富士山や周囲の人々についての描写に注意して、小説を読み味わおうとしている。</p>
<p>読む鏡</p> <p>P87</p> <p>■現代文の窓2 怪談の文学史</p> <p>P97 2時間</p>	<p><b>[知技]</b> (1)ア, イ, ウ, エ</p> <p><b>[思判表]</b> 読むこと(1)ア, イ</p> <p><b>[知技]</b> (1)ア / (2)ア</p> <p><b>[思判表]</b> 読むこと(1)エ</p>	<p>・自分という存在について、特有の語り口で書かれた小説を読み、「鏡」が持つ意味について考える。</p>	<p><b>&lt;第1時&gt;</b></p> <p>1 自分が「怖い」と思った体験を表現する。</p> <p>2 通読して、「僕」という人物、小説の舞台設定、文章構成、語りの工夫などを読み取り、まとめる。(手引き1)</p> <p>3 第一段～第二段を読み、時代背景を考慮に入れながら、「僕」という人物の設定を読み取り、まとめる。</p> <p>4 「僕」の性格や考え方を、仕事に対する態度から読み取り、まとめる。</p> <p><b>&lt;第2時&gt;</b></p> <p>1 第三段を読み、このときの「僕」の心理状態を読み取り、まとめる。(手引き2)</p>	<p><b>[知技]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</li> <li>・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。</li> <li>・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</li> <li>・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</li> </ul> <p><b>[思判表]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</li> </ul>

			<p>2 「僕」と鏡に映った「奴」との関係を、ストーリーの展開に即して考え、まとめる。(手引き3・4)</p> <p>3 第四段を読み、題名も手がかりにして、「僕」の体験が自己の内面を脅かす体験だったことを読み取り、まとめる。(手引き5)</p>	<p>・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</p> <p>・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</p> <p>[主] 進んで本文に表れているものの見方や感じ方を捉え、学習課題に沿って、特有の語り口で書かれた小説を読み、「鏡」が持つ意味について考えようとしている。</p>
古文編5 和歌 (11月)				
<p>読む 万葉集</p> <p>P162 1時間</p>	<p>[知技] (1)ア, ウ, オ/(2)ウ [思判表] 読むこと(1)ア, イ, ウ</p>	<p>・表現の特色に注意しながら、和歌の内容を読み取る。</p>	<p>□『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』について知っていることや、知っている歌を挙げ、学習を始める準備をする。</p> <p>1 『万葉集』の成立、巻数、歌数、時代区分、主な歌人、歌体、頻出する修辞などを確認する。(古文学習のしるべ5)</p> <p>2 短歌・長歌のリズム、句切れなどに注意しながら音読する。(古文学習のしるべ5・手引き1)</p> <p>3 それぞれの歌について、現代語訳した上で、和歌の修辞を確認し、詠まれた時代や状況、作者の心情を考えてまとめる。(古文学習のしるべ4・5・手引き2)</p> <p>4 「不尽山を望みし歌」の長歌の表現上の特徴と、反歌の働きを理解する。(古文学習のしるべ5)</p> <p>5 「不尽山を望みし歌」の反歌について、『小倉百人一首』に載せられた歌とどのように違うか、話し合う。(手引き3)</p>	<p>[知技]</p> <p>・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</p> <p>・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。</p> <p>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>[思判表]</p> <p>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p>・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</p> <p>・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</p> <p>[主] 進んで和歌における表現の特色を理解し、学習課題に沿って、和歌の内容を読み取ろうとしている。</p>

<p>読む 古今和歌集 P166 1時間</p>	<p>【知技】(1)ア, ウ, オ／(2)ウ 【思判表】読む こと(1)ア, イ, ウ</p>	<p>・和歌に表れたもの の見方, 感じ方, 考 え方を読み取る。</p>	<p>1 『古今和歌集』の成立, 撰者, 部立, 頻出する修辭な どを理解する。また, 勅撰和歌集についても確認する。 (古文の窓6・古文学習のしるべ5) 2 歌の句切れやリズムに注意しながら, 歌を音読する。 (手引き1) 3 五三番歌～三三七番歌の四季の歌を, 現代語訳した上 で, 季節の風物をどのように捉えて表現しているか, 和歌の修辭を確認しながらまとめる。(古文学習のし るべ4・5・手引き2) 4 四〇六番歌～九五六番歌の「羈旅歌」「恋歌」「雑歌」 を現代語訳した上で, 和歌の修辭を確認し, それぞれ どのような心情が詠まれているか, まとめる。(古文 学習のしるべ4・5・手引き3)</p>	<p>【知技】 ・言葉には, 文化の継承, 発展, 創造を支える働きがあ ることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し, それら の文化的背景について理解を深め, 文章の中で使うこ とを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的 な表現の技法とその効果について理解している。 ・古典の世界に親しむために, 古典を読むために必要な 文語のきまりや訓読のきまり, 古典特有の表現などに ついて理解している。 【思判表】 ・「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 内容 や構成, 展開などについて叙述を基に的確に捉えてい る。 ・「読むこと」において, 作品や文章に表れているもの の見方, 感じ方, 考え方を捉え, 内容を解釈している。 ・「読むこと」において, 文章の構成や展開, 表現の仕 方, 表現の特色について評価している。 【主】進んで和歌における表現の特色を理解し, 学習課 題に沿って, 和歌に表れたもの見方, 感じ方, 考え 方を読み取ろうとしている。</p>
<p>読む 新古今和歌集 [言語] P170</p>	<p>【知技】(1)ア, ウ, オ／(2)ウ 【思判表】読む こと(1)ア, イ, ウ, エ, オ ④読むこと(2) イ</p>	<p>・さまざまな内容や 表現の和歌を読み 取り, 解釈を深め る。</p>	<p>1 『新古今和歌集』の成立, 撰者, 部立, 頻出する修辭 など理解する。また, 成立した時代の政治状況を認 識する。(古文の窓6・古文学習のしるべ5) 2 歌の句切れやリズムに注意しながら, 歌を音読する。 (手引き1) 3 それぞれの歌を, 現代語訳した上で, 和歌の修辭を確</p>	<p>【知技】 ・言葉には, 文化の継承, 発展, 創造を支える働きがあ ることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し, それら の文化的背景について理解を深め, 文章の中で使うこ とを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的 な表現の技法とその効果について理解している。</p>

<p>■古文の窓 6 勅撰和歌集の構成 P 174</p> <p>●古文学習のしるべ 5 和歌の修辞 P 175 1 時間</p>	<p>[知技] (2)イ [思判表] 読む こと(1)エ</p> <p>[知技] (1)オ/ (2)ウ [思判表] 読む こと(1)ア</p>		<p>認し、詠まれた情景や心情を読み取り、まとめる。(手引き 2・古文学習のしるべ 4・5)</p> <p>4 宮内卿の歌と藤原家隆の歌をそれぞれの本歌と比較し、共通点と相違点をまとめる。(手引き 3・古文学習のしるべ 5)</p> <p>5 後に「三夕の歌」と呼ばれるようになる「秋歌上」の三六一番歌～三六三番歌を詠み比べ、気づいたことをまとめる。(手引き 4)</p> <p>6 『新古今和歌集』に表れる美意識について理解する。</p> <p>□『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』の歌の傾向の違いについて考え、話し合う。(言語活動)</p>	<p>・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。</p> <p>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>[思判表]</p> <p>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p>・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</p> <p>・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</p> <p>・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</p> <p>・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</p> <p>[主] 進んで和歌における表現の特色を理解し、学習課題に沿って、さまざまな内容や表現の和歌を読み取り、解釈を深めようとしている。</p>
<p>書く 〔言語〕短歌を作る P 177 2 時間</p>	<p>[知技] (1)オ/ (2)ウ [思判表] 書く こと (1) イ / ④ 書くこと (2)ア</p>	<p>・自分の感じたことや伝えたいメッセージなどを、古典的技法に倣って短歌にし、効果的に書く。</p>	<p>□『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』の中から好きな歌を一首選び、その理由を発表する。</p> <p>1 和歌の歴史や伝統について、概略を理解する。</p> <p>2 和歌の技法の一つである「折句」について、『伊勢物語』の例と折句の解説(176 ページ)をもとに確認する。</p> <p>3 短歌を作るために、折句で詠み込む五音の言葉を決め</p>	<p>[知技]</p> <p>・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。</p> <p>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>[思判表] 「書くこと」において、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。</p>



			<p>る。(課題①1)</p> <p>4 決めた五音が各句の頭に来るように短歌を作り，推敲する。(課題①2)</p> <p>5 「本歌取り」の技法について確認する。</p> <p>6 <b>A</b>に倣い，「君がため」「わが」「つつ」を用いて，フレーム短歌を作り，推敲する。(課題②1)</p> <p>7 <b>B</b>に倣い，「くるしみは……時」「たのしみは……時」「かなしみは……時」などの形でフレーム短歌を作り，推敲する。(課題②2)</p> <p>8 課題1・2で作った短歌を短冊に書き，作品に仕上げる。(課題③1)</p> <p>9 作品を貼り出したり，コピーして配ったりして，表現の仕方などについて互いに批評し合い，話し合う。</p> <p><input type="checkbox"/>短歌を実作する前と，実作した後で，我が国の言語文化としての和歌(短歌)に対する考え方が変わったか，話し合う。</p>	<p><b>[主]</b>進んで短歌の構成や語句などの表現の仕方を工夫し，学習課題に沿って，自分の感じたことや伝えたいメッセージなどを，古典的技法に倣って効果的に書くようとしている。</p>
<p>読む 恋の歌を読み比べる 〔言語〕</p> <p>P180 1時間</p>	<p><b>[知技]</b> (1)ア，ウ，オ／(2)イ <b>[思判表]</b> 読むこと(1)イ，エ，オ <b>④</b> 読むこと(2)オ</p>	<p>・さまざまな時代の恋の歌を読み比べて，ものの見方，感じ方，考え方を深める。</p>	<p><input type="checkbox"/>『古今和歌集』『新古今和歌集』の恋の歌，『小倉百人一首』中の恋の歌などから好きな歌を選び，発表する。</p> <p><input type="checkbox"/>近現代の詩歌，現代の楽曲の中からも好きなものを選び，発表する。</p> <p>1 古典和歌で，恋の気持ちがどのように詠まれているか確認する。(言語活動1)</p> <p>2 近現代の詩歌の内容を確認し，恋の気持ちを読み取る。また，古典和歌と近現代の詩歌とを読み比べ，共</p>	<p><b>[知技]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。</li> <li>・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。</li> <li>・古典の世界に親しむために，作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。</li> </ul> <p><b>[思判表]</b></p>

			<p>通点や相違点についてまとめる。(言語活動1)</p> <p>3 現代の楽曲に表れた恋の気持ちを確認する。(言語活動1)</p> <p>4 言語活動1での読み比べを通して気づいたことを踏まえ、さまざまな「恋の歌」から一つ選び、八百字程度で鑑賞文を書く。(言語活動2)</p> <p>□鑑賞文でどのような詩歌や楽曲を扱ったか、また、鑑賞文を書くにあたってどんな点を工夫したか、発表する。</p>	<p>・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</p> <p>・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</p> <p>・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持っている。</p> <p><b>[主]</b> 進んで詩歌や楽曲に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、学習課題に沿って、さまざまな時代の恋の歌を読み比べて、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。</p>
--	--	--	--	--

古文編6 作り物語と軍記物語 (12月)

<p>読む 竹取物語 [言語] P184</p> <p>■古文の窓7 月の伝説 P189</p> <p>■古文の窓8 古典文学の中の富士山 P192 2時間</p>	<p>[知技] (1)ア, ウ, エ/(2)ウ [思判表] 読むこと(1)ア, イ, オ ㊦ 読むこと(2)イ</p> <p>[知技] (2)ア, イ [思判表] 読むこと(1)エ</p> <p>[知技] (1)ア/(2)イ [思判表] 読むこと(1)エ</p>	<p>・作り物語に表れた多様な思いを、叙述を基に的確に捉える。</p>	<p>□昔話としての「かぐや姫」について、知っていることを発表する。</p> <p>□『竹取物語』の概略を理解する。</p> <p>□「なよたけのかぐや姫」(参考)を音読し、古文のリズムを味わう。また、大まかな内容を理解する。</p> <p>□かぐや姫の誕生についてどのように描かれているか確認し、作品の伝奇的特質について話し合う。</p> <p>□伝奇的特質に注目して、昔話などの話型を確認する。</p> <p><b>【天の羽衣】</b></p> <p>1 全文を通読し、概略を捉える。(語句と表現1)</p> <p>2 主に「王とおぼしき人」の言動に注目し、天人の能力や、その考え方を読み取る。</p> <p>3 かぐや姫が翁のもとに来た理由がどのように語られているか、まとめる。(手引き1)</p>	<p><b>[知技]</b></p> <p>・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</p> <p>・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</p> <p>・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</p> <p>・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。</p> <p>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p><b>[思判表]</b></p> <p>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えてい</p>
--	---	-------------------------------------	--	--

			<p>4 「王とおぼしき人」と翁それぞれの言動を整理し、天上と地上の世界を比較する。</p> <p>5 かぐや姫の言動に注目し、その人物像について考える。</p> <p>6 「今はとて…」の歌に託されるかぐや姫の思いと、「天の羽衣」の効力について考える。(手引き2)</p> <p>7 敬語の種類とその用法について確認する。(語句と表現2・3)</p> <p>8 中国と日本における月の伝説について理解する。(古文の窓7)</p> <p><b>【富士の山】</b></p> <p>1 全文を通読し、概略を捉える。</p> <p>2 帝の心情と行動について考える。(手引き1)</p> <p>3 「富士の山」の名前のいわれについて、本文の内容をまとめる。(手引き2・古文の窓8)</p> <p>4 敬語の種類とその用法について確認する。(語句と表現1)</p> <p><input type="checkbox"/> 「天の羽衣」「富士の山」から、当時の人々のどのような思いが読み取れるか、話し合う。(言語活動)</p> <p>* <input type="checkbox"/> この教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</li> <li>・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</li> <li>・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持っている。</li> </ul> <p>[主] 進んで文章の展開や表現の特色を理解し、学習課題に沿って、作り物語に表れた多様な思いを的確に捉えようとしている。</p>
漢文編4 史話 (12月)				
読む	[知技] (1)ア,	・話の展開や登場人	<input type="checkbox"/> 三編の題名が成語として用いられていることに触れ,	[知技]

<p>史話一三編 〔言語〕</p> <p>P 264</p>	<p>ウ, エ／(2)イ 【思判表】読む こと(1)ア, イ, オ ㊦ 読むこと(2) イ</p>	<p>物の言動を読み取り, 史話のおもしろさを味わう。</p>	<p>その意味を確認する。 □ 神話時代から春秋時代に至る中国史の概略を整理する。 □ 『史記』・『十八史略』の形式や成立事情を確認する。</p> <p><b>【晏子之御】</b> 1 範読を手がかりに, 本文を繰り返し音読する。 2 脚注等を参照しながら, 句法に注意して正確に現代語訳し, 内容を整理する。(手引き 1・語句と表現 1) 3 御者の妻が, 晏子と自分の夫(御)をどのように比較し, どんな決断をしたかを読み取る。(手引き 2) 4 妻の発言は, 夫にどのような変化をもたらしたか, 晏子はどのように評価したかを読み取る。(手引き 3) 5 三人の人物像を確認するとともに, 『史記』において晏子が高く評価される理由を明らかにする。(言語活動)</p> <p><b>【管鮑之交】</b> 1 本文を繰り返し音読し, 正しく書き下し文を書くことで書き下しのきまりを確認する。 2 管仲が桓公に用いられる経緯について, 語句・句法の意味, 用法に注意して現代語訳する。(手引き 1) 3 管仲と鮑叔の交友を, 語句・句法の意味, 用法に注意して現代語訳する。(手引き 2) 4 現代語訳を完成し, 桓公の管仲に対する評価の変化を理解する。 5 「管鮑の交わり」という故事成語がどのように使われるかを調べ, また, 自分の体験とも照らし合わせる。</p>	<p>・言葉には, 文化の継承, 発展, 創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し, それらの文化的背景について理解を深め, 文章の中で使うことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は, 文脈の中で形成されることを理解している。 ・古典の世界に親しむために, 作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。</p> <p><b>【思判表】</b> ・「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 内容や構成, 展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において, 作品や文章に表れているもの見方, 感じ方, 考え方を捉え, 内容を解釈している。 ・「読むこと」において, 作品の内容や解釈を踏まえ, 自分のもの見方, 感じ方, 考え方を深め, 我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</p> <p><b>【主】</b> 進んで話の展開や登場人物の言動を読み取り, 学習課題に沿って, 史話のおもしろさを味わおうとしている。</p>
<p>■ 漢文の窓 5 交友論</p> <p>P 272 3 時間</p>	<p>【知技】(2)イ 【思判表】読む こと(1)ア</p>			

			<p>(手引き 3・語句と表現 1)</p> <p><b>【臥薪嘗胆】</b></p> <p>1 正しく音読できるようになった後で、漢文を参考に重要箇所を書き下し文で書く。(手引き 1)</p> <p>2 呉王闔廬に仕える伍子胥の逸話と、闔廬の死後夫差が「臥薪」し句踐に復讐を遂げるまでを、語句・句法の意味、用法に注意して現代語訳する。(手引き 3)</p> <p>3 越王句踐が「嘗胆」し、長年の準備の後で呉を滅亡させる結末までを、語句・句法の意味、用法に注意して現代語訳する。(手引き 3・4)</p> <p>4 全体を把握して、「呉・越」の関係を理解する。(手引き 2・4)</p> <p>5 呉が負けた理由、越が勝った理由をそれぞれ話し合う。</p> <p>6 「臥薪嘗胆」その他の故事成語はどのように使われるかを調べる。(語句と表現 1)</p> <p><input type="checkbox"/> 「漢文の窓 5 交友論」(教科書 272 ページ)を読んで、交わり方の違いを表す故事成語を学び、人との関係の持ち方について考える。(漢文の窓 5)</p> <p><input type="checkbox"/> 国語便覧などを用い、史話が出典とされる故事成語に触れる。</p> <p><input type="checkbox"/> 三編の史話をふまえ、日本史や世界史の教科書に記述されるような「歴史」と、中国の歴史書の「歴史」の違いについて考える。</p> <p><input type="checkbox"/> 故事成語が、今も身近にあって、我々のあり方・生き方を考える言葉であることを理解する。</p>	
<p>■ 3 学期</p>				
<p>現代文編 5 作品を読み比べる (1 月)</p>				

<p>読む 桜に関する作品を読み 比べる [言語] P100 3時間</p>	<p>[知技] (1)ア, ウ, エ/(2)ア [思判表] 読む こと(1)エ, オ</p>	<p>・桜に関して書かれ た多様な形式の作 品を読み比べなが ら, 日本文化におけ る桜のありようを 探る。</p>	<p>&lt;第1時&gt; 1 桜についての詩歌や文章を通読する。 2 [A] の古典和歌において桜がどのように詠まれているか考える。(言語活動1)</p> <p>&lt;第2時&gt; 1 [B] [C] について, 形式の違いにも注意しながら, 近現代の詩歌において桜に託された作者の思いを比較する。(言語活動2) 2 [D] の随筆において, 桜を巡る筆者の考えがどのように変化しているか, まとめる。(言語活動3)</p> <p>&lt;第3時&gt; 1 [A] から [D] で描かれた桜を比較し, 読み比べを通して気づいたことを, 八百字程度の文章にまとめる。(言語活動4)</p>	<p>[知技] ・言葉には, 文化の継承, 発展, 創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し, それらの文化的背景について理解を深め, 文章の中で使うことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は, 文脈の中で形成されることを理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</p> <p>[思判表] ・「読むこと」において, 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ, 内容の解釈を深めている。 ・「読むこと」において, 作品の内容や解釈を踏まえ, 自分のものの見方, 感じ方, 考え方を深め, 我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</p> <p>[主] 進んで桜に関して書かれた多様な形式の作品を読み比べ, 学習課題に沿って, 日本文化における桜のありようを探ろうとしている。</p>
<p>古文編6 作り物語と軍記物語 (1月)</p>				
<p>読む 平家物語 P194 2時間</p>	<p>[知技] (1)ア, ウ, エ/(2)ウ [思判表] 読む こと(1)ア, イ, ウ</p>	<p>・軍記物語特有の表 現に注目しながら, 登場人物の描かれ 方を読み取る。</p>	<p>□「木曾の最期」に至るまでのいきさつを確認する。 <b>【木曾の最期】</b> 1 全文を通読して話の大筋をつかむ。(手引き1・語句と表現1) 2 第一場面を読み, 再会を果たした義仲と兼平の心情を読み取る。 3 第二場面の軍記物語に特有のすぐれた描写を指摘し, その効果を考える。(語句と表現2)</p>	<p>[知技] ・言葉には, 文化の継承, 発展, 創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し, それらの文化的背景について理解を深め, 文章の中で使うことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は, 文脈の中で形成されることを理解している。 ・古典の世界に親しむために, 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり, 古典特有の表現などに</p>

			<p>4 義仲と巴の心情の動きと通じ合いを読み取る。(手引き2)</p> <p>5 第三場面の敬語に着目し、会話の内容を読み取る。</p> <p>6 義仲に自害を勧める兼平の心情と、義仲の言動と心情とを読み取る。(手引き3)</p> <p>7 第四場面の兼平の奮戦を、描写に着目して読み取る。</p> <p>8 義仲と兼平の心情に触れながら、それぞれの死の描かれ方について考える。(手引き4・5)</p> <p>* <b>D</b>この教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	<p>ついて理解している。</p> <p><b>[思判表]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</li> <li>・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</li> </ul> <p><b>[主]</b> 進んで軍記物語特有の表現などについて理解し、学習課題に沿って、登場人物の描かれ方を読み取ろうとしている。</p>
<p>読む 〔言語〕受け継がれる 『平家物語』 P204 1時間</p>	<p><b>[知技]</b> (1)ア／ (2)カ <b>[思判表]</b> 読むこと(1)ウ、エ、オ <b>話</b> 読むこと(2) オ</p>	<p>・古典を素材とした芸能などを調べ、受け継がれてきた言語文化について自分の考えを持つ。</p>	<p>1 『平家物語』が後世の文学・芸能に与えた影響について確認する。</p> <p>2 『平家物語』を素材とした作品を、『平家物語』本文と読み比べ、登場人物や場面設定、あらすじなどについて、共通点や相違点を調べる。(課題1)</p> <p>3 調べたことや考えたことを基に、それぞれの作品がどのような工夫によって新たな展開をさせているのか、まとめる。(課題2)</p> <p>4 3を基に発表し、意見や感想を述べ合う。(課題2)</p> <p>□文体を意識して、場面に応じた音読をする。</p>	<p><b>[知技]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</li> <li>・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。</li> </ul> <p><b>[思判表]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</li> <li>・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</li> <li>・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持っている。</li> </ul> <p><b>[主]</b> 進んで『平家物語』を素材とした芸能などを調べ、学習課題に沿って、受け継がれてきた言語文化について自分の考えを持とうとしている。</p>
古文編7 俳諧(1～2月)				

<p>読む 奥の細道</p> <p>P 208 2 時間</p>	<p>[知技] (1)ア, ウ, エ/(2)ア, ウ</p> <p>[思判表] 読む こと(1)ア, イ, ウ</p>	<p>・構成に注目しながら, 作品に込められた思いを読み取る。</p>	<p>□『奥の細道』について知っていることを発表する。また, 出典や作者などについては教科書の出典・作者紹介などで調べておく。</p> <p><b>【漂泊の思ひ】</b></p> <p>1 全文を通読し, 前段と後段それぞれの概略を読み取る。(手引き 1)</p> <p>2 用いられている修辞や省略表現を探し, 発表する。(語句と表現 1・2)</p> <p>3 前段に記された旅の動機, 人生観, 旅の準備をする心情について読み取る。</p> <p>4 「草の戸も…」の句を解釈し, 作者の心情を読み取る。(手引き 2)</p> <p>5 後段を読み, 旅立ちの様子とその時の心情を読み取る。(語句と表現 2)</p> <p>6 「行く春や…」の句を解釈し, 作者の心情を読み取る。(手引き 2)</p> <p>7 作者が旅をどのようなものと捉えているかをまとめる。(手引き 3)</p> <p><b>【平泉】</b></p> <p>1 書かれている場所を意識しながら全文を通読し, 概略を読み取る。</p> <p>2 作者は, どのようなものが滅び, どのようなものが残っていると述べているか, 整理する。(手引き 1)</p> <p>3 中国の故事「黄梁一炊の夢」と, 杜甫「春望」の内容</p>	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には, 文化の継承, 発展, 創造を支える働きがあることを理解している。</li> <li>・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し, それらの文化的背景について理解を深め, 文章の中で使うことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・文章の意味は, 文脈の中で形成されることを理解している。</li> <li>・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</li> <li>・古典の世界に親しむために, 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり, 古典特有の表現などについて理解している。</li> </ul> <p><b>【思判表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 内容や構成, 展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において, 作品や文章に表れているものの見方, 感じ方, 考え方を捉え, 内容を解釈している。</li> <li>・「読むこと」において, 文章の構成や展開, 表現の仕方, 表現の特色について評価している。</li> </ul> <p><b>【主】</b> 進んで文章の構成や展開について理解し, 学習課題に沿って, 作品に込められた作者の思いを読み取るうとしている。</p>
--	---	-------------------------------------	--	---



			<p>を確認する。</p> <p>4 高館で作者が「涙を落とし」た理由を考える。</p> <p>5 「夏草や…」 「卯の花に…」 の句を解釈し、曾良の句を置くことにより、どのような効果があるかを考える。(手引き 2)</p> <p>6 「五月雨の…」 の句に表現された作者の感動を読み取る。(手引き 2)</p> <p>7 自然と人為について作者はどう考えているのかをまとめる。(手引き 3)</p> <p><b>【大垣】</b></p> <p>1 全文を通読し、概略を読み取る。</p> <p>2 作者が大垣に到着した際の様子や、迎える人々の気持ちを読み取る。</p> <p>3 作者の伊勢への出発の事情を「漂泊の思ひ」と関連させながら読み取る。(手引き 1)</p> <p>4 「蛤の…」 の句を解釈し、この句で『奥の細道』が結ばれた意図を考える。(語句と表現 1・手引き 2)</p> <p>5 「漂泊の思ひ」から「大垣」までに出てきた六つの句について、季語と切れ字を確認する。(語句と表現 2)</p>	
<p>読む 〔言語〕 俳句の翻訳 P 216 1 時間</p>	<p><b>【知技】</b> (1)ア / (2)ア <b>【思判表】</b> 読むこと(1)イ, ウ, オ <b>㊦</b> 読むこと(2)エ</p>	<p>・俳句の翻訳を通して、多様な解釈に触れるとともに、自らの解釈を深める。</p>	<p>1 俳句の翻訳について概略を理解し、「閑かさや…」の句を英訳した例 (216 ページ <b>1</b>) を確認する。</p> <p>2 <b>2</b> (217 ページ) を <b>1</b> の英訳と比較し、どのような違いがあるかをまとめる。(課題 1)</p> <p>3 「閑かさや…」の他の英訳について調べ、原句と比較する。(課題 2)</p>	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</li> <li>・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</li> </ul> <p><b>【思判表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、作品や文章に表れているもの</li> </ul>

			<p>4 3を基に、どの訳が良いと思うか、根拠を示しつつ、意見を発表し合う。(課題2)</p> <p>5 「行く春や…」 「夏草や…」 の句を英訳する。(課題3)</p> <p>6 5を基に英訳を発表し、互いの解釈や表現の違いについて話し合う。(課題3)</p> <p><input type="checkbox"/> 『奥の細道』の文学史的 위치について理解する。</p>	<p>の見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</li> <li>・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持っている。</li> </ul> <p><b>[主]</b> 進んで俳句の翻訳について理解し、学習課題に沿って、多様な解釈に触れるとともに、自らの解釈を深めようとしている。</p>
<p>書く 〔言語〕文学碑を調べる</p> <p>P218 1時間</p>	<p><b>[知技]</b> (1)ア <b>[思判表]</b> 書くこと(1)ア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の文学碑を調べ、集めた材料を吟味し、整理する。</li> </ul>	<p><input type="checkbox"/> 自分の住んでいる地域に関わる文学作品や作家について知っていることを発表し合う。</p> <p>1 教科書に掲載された例を参考にしつつ、「文学碑」の概略を理解する。</p> <p>2 自分の住む地域にはどのような文学碑があるのか確認する。(課題1)</p> <p>3 自分が興味を持った文学碑について調べ、[ワークシート例]を参考にして整理する。(課題2)</p> <p>4 3を基に、自分の住む地域と文学との関わりについて、考えたことや気づいたことをまとめる。</p> <p><input type="checkbox"/> 地域にとって文学碑はどのような役割や意味を持っているのか、各文学碑の建立の経緯から考察し話し合う。</p>	<p><b>[知技]</b> 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</p> <p><b>[思判表]</b> 「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。</p> <p><b>[主]</b> 進んで文学碑について理解し、学習課題に沿って、地域の文学碑を調べ、集めた材料を吟味し、整理しようとしている。</p>
古文編 古文の広がり (2月)				
<p>読む 昔の犬は何と鳴く</p>	<p><b>[知技]</b> (2)ア, エ, カ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の変化についての解説を読み、言</li> </ul>	<p><input type="checkbox"/> 古文に関する現代の文章を読むことが古文の多様な</p>	<p><b>[知技]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文</li> </ul>

<p>〔言語〕</p> <p>P 220 1 時間</p>	<p>〔思判表〕 読むこと(1)イ, オ ⑧ 読むこと(2)ア</p>	<p>語文化への視野を広げる。</p>	<p>広がり, 古文に対する多様なアプローチに触れることになることを理解する。</p> <p>1 本文を通読し, 概略を読み取る。</p> <p>2 筆者は犬の鳴き声が昔「びよ」「びよう」であったことをどのように論証しているか, その過程を整理する。(言語活動 1)</p> <p>3 古文に用いられている擬音語・擬態語について調べ, 現代語と比較して気づいたことをまとめ, 発表する。(言語活動 2)</p> <p>□ 「言語文化」における古文学習を振り返り, 古文学習の意義について確認する。</p>	<p>化との関係について理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め, 古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。</li> <li>・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。</li> </ul> <p>〔思判表〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において, 作品や文章に表れているものの見方, 感じ方, 考え方を捉え, 内容を解釈している。</li> <li>・「読むこと」において, 作品の内容や解釈を踏まえ, 自分のものの見方, 感じ方, 考え方を深め, 我が国の言語文化について自分の考えを持っている。</li> </ul> <p>〔主〕進んで古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解し, 学習課題に沿って, 筆者の論証の過程を整理したり, 古文における擬音語・擬態語を現代語と比較したりしようとしている。</p>
<p>読む 文体の変遷</p> <p>P 225 1 時間</p>	<p>〔知技〕 (2)ア, イ, オ 〔思判表〕 読むこと(1)エ, オ</p>	<p>・歴史的な文体の変化について, 実例に即しながら理解を深める。</p>	<p>□ 話し言葉と書き言葉, 小論文の文章とメールの文章などの例を考える。</p> <p>1 「古典の文体」を読み, 漢字で日本の言葉を書き記すために積み重ねられてきた工夫について理解し, 気づいた点や, 興味・関心を持った点を挙げる。(課題 1)</p> <p>2 「近代の文体」を読み, 書き言葉を話し言葉と一致させる「言文一致体」について理解し, 気づいた点や, 興味・関心を持った点を挙げる。(課題 1)</p> <p>3 日本語の文体がどのように変化してきたかについて, 教科書に掲載されている文章なども踏まえながら話し合う。(課題 2)</p>	<p>〔知技〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</li> <li>・古典の世界に親しむために, 作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。</li> <li>・言文一致体や和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深めている。</li> </ul> <p>〔思判表〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において, 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ, 内容の解釈を深めている。</li> <li>・「読むこと」において, 作品の内容や解釈を踏まえ, 自分のものの見方, 感じ方, 考え方を深め, 我が国の言語文化について自分の考えを持っている。</li> </ul> <p>〔主〕進んで歴史的な文体の変化について理解を深め,</p>

			<input type="checkbox"/> 古典から近代までの流れをまとめる。 <input type="checkbox"/> 「近代の文体」の文章を現代の文章と比べる。また、日常の話し言葉と比べ、「言文一致体」について考える。	学習課題に沿って、事例に即して気づいた点や興味・関心を持った点を挙げたり、日本語の文体の変化について話し合いをしたりしようとしている。
漢文編5 思想 (3月)				
読む 論語—十一章 P 274	<b>【知技】</b> (1)ア, ウ, エ/(2)イ <b>【思判表】</b> 読むこと(1)ア, イ	・『論語』を読むことを通して、孔子の思想に興味を持ち、ものの見方や考え方を豊かにする。	<input type="checkbox"/> 『論語』の成立と伝播、孔子の生きた時代背景、孔子の略歴を、ノートにまとめる。 <b>【学問を語る】</b> 1 本文を繰り返し音読し、書き下し文にする。(語句と表現1) 2 脚注を参照して正確に現代語訳し、内容を理解する。 3 孔子の学問観について考える。(手引き1) 4 「為政」「述而」の章から生まれた成語を確認する。	<b>【知技】</b> ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。
中国と日本『論語』の注釈を読む P 278 2時間	<b>【知技】</b> (1)ア, ウ, エ/(2)ア, イ <b>【思判表】</b> 読むこと(1)イ, エ, オ ㊦ 読むこと(2)ウ	・『論語』の注釈を読み、日本での『論語』の受容について知るとともに、漢文を自分で解釈する力を養う。	<b>【人生を語る】</b> 1 本文を繰り返し音読し、書き下し文にする。(語句と表現1) 2 脚注を参照して正確に現代語訳し、内容を理解する。(語句と表現1) 3 孔子や弟子の人間観について考え、「忠」「信」、「巧言令色」や「仁」についても調べる。(手引き2・語句と表現2) <b>【政治を語る】</b> 1 本文を繰り返し音読し、書き下し文にする。(語句と表現1) 2 脚注を参照して正確に現代語訳し、内容を理解す	<b>【思判表】</b> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 <b>【主】</b> 進んで自分のものの見方、考え方を深め、学習課

			<p>る。(語句と表現1)</p> <p>3 孔子の理想とする政治について考える。(手引き3)</p> <p>□孔子の思想を, 学問観・人間観・政治観の三つに分けてノートにまとめる。</p> <p>□「言語活動 『孔門の十哲』名鑑を作る」(教科書 281 ページ)に取り組み, 孔子と弟子たちとの人間的な触れ合いを理解する。(言語活動)</p> <p><b>【中国と日本『論語』の注釈を読む】</b></p> <p>□現代文や古文と同様に, 漢文で扱う教材の中には, 訓読の仕方や解釈が複数存在するものがあることを確認する。</p> <p>1 『論語』の解釈や注釈について, 概略を理解する。</p> <p>2 「親孝行とは何か」という問いかけに対する孔子の発言について, 二つの方向性の解釈があることを理解し, 朱熹と伊藤仁斎の解説を読み比べる。(問1)</p> <p>3 朱熹と伊藤仁斎の説のどちらに賛同するか考え, 理由も示しつつ, グループで話し合う。(問2)</p> <p>4 『論語集注』と『論語古義』を読み, 日本で一般的に考えられている「親孝行」と比較し, 気づいたことをグループで話し合う。(問3)</p> <p>* <b>D</b>この教材には, 関連するデジタルコンテンツが用意されているので, 適宜利用するとよい。</p>	<p>題に沿って, 『論語』を読んで, 孔子の学問観・人間観・政治観について考えたり, 『論語』の注釈を読んで, 自分の考えを伝え合ったりしようとしている。</p>
<p>書く</p> <p>〔言語〕「孔門の十哲」名鑑を作る</p> <p>P281</p>	<p><b>【知技】</b>(2)イ</p> <p><b>【思判表】</b>書くこと(1)ア</p>	<p>・好きな人物を選び, 調べて得た情報を的確に整理して, 人物像が伝わる名鑑</p>	<p>1 教科書281ページの例を参考に, どのような名鑑を作るか話し合う。(課題1)</p> <p>2 分担して, 『論語』や『史記』などで調べる。(課</p>	<p><b>【知技】</b> 古典の世界に親しむために, 作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。</p> <p><b>【思判表】</b>「書くこと」において, 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め, 集めた材料のよさや味わい</p>

1 時間		を作る。	<p>題 2)</p> <p>3 調べたことを整理して、一枚の用紙にまとめる。 (課題 3)</p> <p>4 同じ人物について調べたグループで、名鑑の違いなどを比較する。(課題 3)</p> <p><input type="checkbox"/>制作した名鑑を見て、孔子と弟子達との関係について理解を深める。</p> <p><input type="checkbox"/>相手に自分の調べたことや考えを伝えるにはどのような工夫をすればよいかを確認する。</p>	<p>を吟味して、表現したいことを明確にしている。</p> <p><b>[主]</b> 進んで調べて得た情報を的確に整理し、学習課題に沿って、人物像が伝わる名鑑を作ろうとしている。</p>
<p>読む 孟子</p> <p>P 282</p> <p>■漢文の窓 6 孟子の説得術</p> <p>P 284 1 時間</p>	<p><b>[知技]</b> (1)ア, ウ, エ / (2)イ</p> <p><b>[思判表]</b> 読むこと(1)ア, イ, ウ</p> <p><b>[知技]</b> (2)イ</p> <p><b>[思判表]</b> 読むこと(1)ア</p>	<p>・孟子の比喻表現を多用した論理展開を読み、孟子の思想に興味を持つ。</p>	<p><input type="checkbox"/>時代背景、孟子の略歴・孔子との関係をノートにまとめる。</p> <p>1 本文を音読し、書き下し、現代語訳する。(手引き 2・語句と表現 1)</p> <p>2 孟子の性善説について理解する。(手引き 1)</p> <p>3 孟子の論理展開について考え、その説得術を理解する。(手引き 2・語句と表現 2)</p> <p><input type="checkbox"/>性悪説を唱える荀子について紹介し、孟子の考え方と比較してみる。(漢文の窓 6)</p>	<p><b>[知技]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</li> <li>我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</li> <li>我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</li> <li>古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。</li> </ul> <p><b>[思判表]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</li> <li>「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</li> <li>「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕</li> </ul>

				<p>方，表現の特色について評価している。</p> <p>[主]進んで孟子の比喩表現を多用した論理展開について理解し，学習課題に沿って，孟子の思想に興味を持つようとしている。</p>
--	--	--	--	---